



クローバー Clover

2022年3月発行
編集・発行 君津中央病院
☎0438(36)1071

<http://www.hospital.kisarazu.chiba.jp>



理念

私たちは良質で安全な医療を提供し
地域の皆さまに親しまれ、
信頼される病院をめざします。



認定第JC295-4号
一般病院2 (3rdG:ver.2.0)
2019.8.23~2024.8.22

日本医療機能評価機構とは、市民が適切で質の高い医療を安心して享受できるように、医療機関の機能を学術的観点から評価する第三者機関です

基本方針

- 1 接遇とサービスに心がけ、心が安らぐ癒しの環境を整えます。
- 2 高度で良質なわかりやすい医療を提供します。
- 3 包括医療を実践し、地域との連携を大切にします。
- 4 救命救急医療体制の確立と小児、周産期及び終末期医療の充実をめざします。
- 5 職員の教育・研修を推進し、自己研鑽に努めます。
- 6 病院で働く人が一体となり、経営の健全化と満足感のある職場をめざします。

目次

医務局 1,2
看護局 / Information 3,4

医療技術局 5
看護学校 6
Topic 7

医務局

～令和3年度を終えて。

初期研修医よりメッセージ～

いよいよ令和3年度も最終月となりました。

今年度も引き続き、新型コロナウイルス感染症への対応もあり、駆け抜けるような1年だったと感じます。

今回は、新型コロナウイルス感染症治療においても大活躍だった初期研修医からのメッセージを紹介します。

1年生

千葉大学協力病院スタートプログラム1年目の白石健太です。
今年度はコロナ禍で様々な不安がある中で社会人としての生活が始まりました。初めて経験することが多く、ご迷惑をおかけすることが多々あったかと思いますが、上級医の先生方や他の職種の方々からご指導していただき、充実した1年を過ごすことができました。まだまだ至らぬ点が多いかと思いますが、今後ともよろしくお願ひします。

私は4月から大学病院に戻ることとなりますが、どこかで見かけましたら声をかけて頂けると幸いです。

初期研修医1年 白石健太



社会人としても医師としても1年目の年で、知らないことばかりで、毎日失敗の連続でした。幸いにも同期に恵まれて、毎回助けてもらいながら気がついたらあっという間に1年が終わっていました。

今年1番印象に残っているのはやはり新型コロナウイルスの流行です。日本で新型コロナウイルスが流行った時期に呼吸器内科をまわっていて、毎日コロナに感染した患者さまの対応をしてとても大変でしたが、貴重な経験ができたと思います。

他の科でもそれぞれまた違った経験ができ、本当に充実した1年間でした。君津中央病院で初期研修ができて良かったです。2年目も頑張りたいと思います。

初期研修医1年 齊藤千宙



2年生



皆さまこんにちは。君津中央病院で2年間の臨床研修を行っている梶尾真奈美と申します。

つい先日当院での臨床研修がスタートした気がしますが、あっという間に2年が過ぎようとしていることに驚きを感じます。研修生活では病院スタッフはもとより患者さまと接することで医療人として、社会人として大変多くのことを学ばせていただきました。残念ながら4月以降は他の病院に移ることになりますが、当院で医師としてのキャリアを歩み出せたことはかけがえのない財産です。

ご指導いただいたスタッフの皆さま、関わった患者さまにこの場を借りてお礼申し上げます。

初期研修医 2年 梶尾真奈美

君津中央病院研修プログラム2年目の大野貴也と申します。この度当広報誌への寄稿の機会をいただき光栄に存じます。

私事ではありますが、当院で産声をあげ君津で育った私にとってここで働くことは特別なことでした。この2年間の研修生活を通じて少しでも地域に恩返しができるのであればこの上なく幸いです。

4月以降は泌尿器科医として他県で研鑽を続ける予定ですが、これからの長い医師生活でいつかまたこの地に戻って来れば、と願っております。

最後になりますが研修生活でお世話になった皆さま、本当にありがとうございました。

初期研修医 2年 大野貴也



看護局

～看護局認定看護師の活動について～

現在10分野17名の認定看護師、そのうち5名は特定看護師として活動しています。特定看護師は、実践的な理解力や判断力、高度かつ専門的な知識と技術を有する看護師のことです。

◆皮膚・排泄ケア

床ずれや傷の手当、ストーマケア、排泄に関わるケアを行っています。当医療圏唯一のストーマ外来を行っています。地域の訪問看護ステーションとの同行訪問や出前講座を行い、地域との連携を大切にしています。

◆感染管理

院内感染を防止する様々な活動をしています。例えば、感染対策が実践されているか院内ラウンドを行う、検査結果をチェックするなど直接的、間接的に監視し、対策を行います。また、千葉県の新型コロナ・クラスター対策班として地域施設の対策を行いました。

◆がん化学療法

がん化学療法は、新規薬剤の導入により複雑化しています。患者さまが安心して治療に取り組めるように、身体面・精神面のケアを行い、院内スタッフが安全に投薬管理と看護実践ができるように、支援しています。

◆糖尿病看護

医師やコメディカルスタッフと協働し、地域の糖尿病を持つ患者さまの合併症発症予防と進行抑制に努め、糖尿病を持ちながらより良い人生を送れるよう支援しております。

◆緩和ケア

緩和ケアチーム・緩和ケア病棟で、主治医・多職種と協力し、がんによって生じる不安や身体的なつらさを抱えている患者さまとご家族を支えるための専門的なケアの支援と緩和ケアの普及を目指し活動しています。

◆認知症看護

認知症ケアチームや病棟看護師と協働しながら、認知症をもつ患者さまが、安心して安全に治療を受けることができ、入院前の精神・身体機能を維持し元の生活に戻れるよう環境調整やケア体制の構築に努めております。

◆脳卒中リハビリテーション看護

急性期での重篤化回避に加え生活の再構築に向けたリハビリテーション看護の実践に向けて取り組んでいます。また、千葉県脳卒中地域連携等の会を通じて急性期、回復期、生活期へシームレスに看護が提供できる体制作りを行っています。

◆透析看護

透析看護では、透析治療を受けられている患者さまはもちろん、腎臓の機能に不安を抱える全ての患者さまに血圧管理や食事指導など腎臓の負担を減らすための指導をしています。

◆救急看護

救急患者さまの来院時トリアージ、入院患者さまが突然具合が悪くなった場合の対応、災害時に備えた準備や教育など、救急時に迅速・安全に支援できるように活動しています。





地域リハビリテーション広域支援センターより

広域支援センターでは毎年地域市民の方々へ向けた活動を『君津圏域公開フォーラム』として開催しております。

今年度は感染症の影響を考慮し10月2日～3日にオンデマンド配信として講演会を実施いたしました。

内容は「骨粗鬆症」をテーマに、医歯薬連携を整形外科医の武井紀夫氏・歯科医の武井知至氏・薬剤師の三上氏に、また、「新型コロナウイルス」をテーマに認定看護師の堀井氏にご講演いただきました。

来年度も計画しており、頂戴したご意見を参考に、より良い企画していきたいと考えております。多くの方のご参加お待ちしております。

第12回君津圏域公開フォーラム
～オンライン講演会～ **参加費 無料**

毎年、君津中央病院にて開催している公開フォーラムですが、本年度は新型コロナウイルス感染症の影響を鑑みて、開催を中止していただき、専門家の先生方の講演を、インターネット配信にて実施することをいたしました。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

日時 2021年10月2日(土)～3日(日)

方法 インターネット配信 ※詳細は別紙へ

講演内容

講演① 『骨粗鬆症』
～骨粗鬆症は高齢者だけの病気じゃない～
✓ホルモンバランスの変化で40歳代から骨粗鬆症に？
✓骨を強くして発症を予防するための最新知識
講師 武井 紀夫 先生 (整形外科医 院長)

講演② 『新型コロナウイルス』
～新型コロナウイルスにおける感染への対応～
✓4市(大宮津・君津・富津・袖ヶ浦)の状況
✓感染を正しく恐れるための知識
講師 堀井 俊男 先生 (認定看護師 感染症認定看護師)

参加者：156名

90%以上の方が
『有意義』
と回答!

がんサロンについて

感染の状況を鑑み、1月から中止しております。

再開の目処が立ちましたら、ホームページにてご案内いたします。

令和4年度会計年度任用職員募集のお知らせ

当院では、下記の職員を募集しています。

- ・ 看護師
- ・ 看護助手
- ・ 臨床検査技師
- ・ 診療放射線技師
- ・ 理学療法士
- ・ 視能訓練士
- ・ 管理栄養士
- ・ 調理員
- ・ 診療補助事務員
- ・ 労務員

詳細はホームページをご覧ください、人事課までお問合せ下さい。

TEL: 0438-36-1071(代) **詳細はこちらから**➡



<http://www.hospital.kisarazu.chiba.jp/the-news/saiyo-kensyu-the-news.html>

医療技術局

～良質で安全な医療の提供のために、
質の高い信頼される技術職集団を目指します～

医療技術局は9科2室11職種の専門職で構成されています。下記にわかりやすく一言で特徴をお示しました。それぞれの技術を高め、医師、看護師と協働で診療に尽力しています。

働き方改革に向けて医師のタスクシフトに応じるために技能研修を積み、安心安全な医療の提供に努めます。

今年度は特に接遇に力を入れて各科に指導者を養成し、研修を行っています。患者さまの心身に寄り添った温かい言葉と態度で信頼される技術職集団を目指します。

医療技術局	薬剤科	薬品管理、調剤、薬剤指導をします
	臨床検査科	血液、尿、心電図などの検査をします
	放射線技術科	放射線、磁力を用い検査、治療を行います(CT/MR/PET/レントゲン撮影など)
	臨床栄養科	栄養管理、病院給食の調理、栄養指導をします
	リハビリテーション科	日常生活動作、認知、言語、摂食などの回復を促します
	臨床工学科	医療機器の管理、操作をします
	歯科衛生科	口腔ケア、歯科医師の診療補助をします
	視能訓練科	眼科検査、視機能訓練、医師の診療補助をします
	治験管理室	患者さまに安心して治験に参加していただけるよう努めます
	医療福祉相談科	社会福祉の立場から、療養支援を行います
	臨床心理室	心理療法を使って、心が立ち直るお手伝いをします



君津中央病院附属 看護学校

～継灯式～



令和3年11月24日、君津中央病院附属看護学校では継灯式が行われ、一年生59名がナイチンゲールの精神を受け継ぎ、看護の道に進む決意を新たにしました。

平時であれば、行政・医療関係者及び保護者など多くの方をお招きし、一年生の継灯を祝したいところがありますが、今年度は新型コロナウイルス感染症防止のため、学校関係者のみで挙行了しました。上級生や教職員に見守られる中、一人一人がナイチンゲール像の灯からキャンドルに火を移し、厳粛な面持ちで登壇。「ニーズに合わせた看護を行い、患者さまと家族に寄り添います」と、全員で宣誓しました。

上級生代表からは、「何が必要か、自分に何が出来るか、患者さまと向き合おうとする気持ちが一番大事。同じ看護の道を志す仲間として、分からないことがあったら聞いてほしい」と激励の言葉が贈られました。

一年生代表の学生は「患者さまが何をしたいのか、コミュニケーションを取りながら対応できる看護師を目指したい」と、看護学生としての目標を語りました。一年生は、思いを新たに、今後病院や介護施設での実習に臨んでいきます。

48回生 誓いの言葉

会話を通して3側面を理解し、ニーズに合わせた看護を行い、患者と家族に寄り添います。

技術練習を重ね、常に危険を予測し、安心・安全・安楽な看護を提供します。

根拠に基づいた看護を心掛け、自身の心情にとられる事なく、看護師として倫理的な対応を行います。

日頃から報告・連絡・相談を意識的に行い、情報を共有する習慣をつけます。

支えて下さる全ての方に感謝し、自ら学びを求め、自己成長し続けます。

48回生は、常に責任と誇りを持ち、共に切磋琢磨し、目標に向かって看護の道を歩んでいくことを誓います。

→3側面とは、患者理解における〈身体的・精神的・社会的〉の3つの視点のこと。



Topic

当院の北村医務局長が総務大臣から令和3年度救急功労者として表彰されました。

●救急功労者表彰(総務大臣表彰)とは

救急業務の推進に貢献し、社会公共の福祉の増進に顕著な功績があった個人及び団体を総務大臣が表彰するもので、令和3年度は、全国で個人表彰12名及び団体表彰1団体が表彰されました。

●功績について

北村医務局長は、三次救急医療機関として重篤な救急患者さまを積極的に受け入れるとともに、ドクターヘリの導入にも尽力し、地域救急医療の発展に多大な貢献を行いました。

また、君津地域救急業務メディカルコントロール協議会会長として、救急隊の現場活動基準(プロトコル)の作成や、救急隊員教育における病院実習をはじめとした継続教育に尽力し、救急業務及び救急救命士の資質の向上に貢献しました。

このように、多大な貢献を行った功績が認められ、このたび表彰されました。



9月9日の「救急の日」に北村医務局長が救急功労者表彰(総務大臣表彰)を受賞したことに伴い、令和3年10月21日に当院において関係4市の消防長列席のもとで君津地区消防長会会長から表彰状が伝達されました。

(後列左から)

榎本君津市消防長、高岡木更津市消防長、末吉袖ヶ浦市消防長、宇山富津市消防長

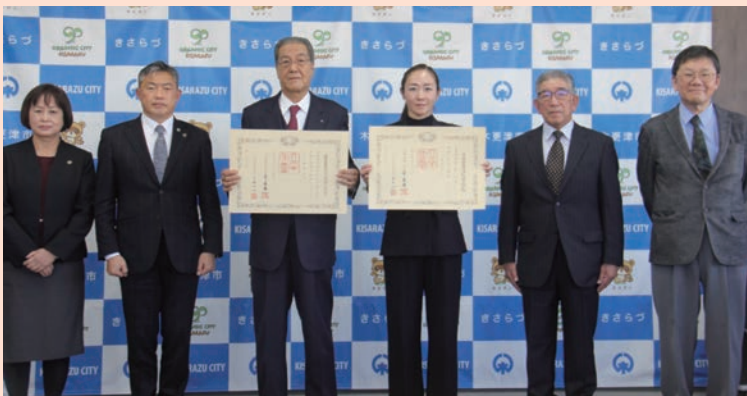
(前列左から)

小島事務局長、田中企業長、北村医務局長、海保病院長

紺綬褒章伝達式を執り行いました。

当院へ多額のご寄附をいただきました、日本賃貸保証株式会社様及び特定非営利活動法人Standard Opinion Society様に対し、国から紺綬褒章が授与されることとなったため、令和4年1月12日(木)に伝達式を執り行いました。

伝達式では渡辺木更津市長(君津中央病院運営協議会会長)より、紺綬褒章を伝達し、これまでのご寄附への感謝を伝え、その功績を称えました。



紺綬褒章とは

国、地方公共団体又は公益団体のために私財を寄附した方に内閣府から送られる褒章です

(左から)

田中副市長、渡辺市長、特定非営利活動法人 Standard Opinion Society 井坂理事長、日本賃貸保証株式会社 梅田代表取締役、田中企業長、海保病院長